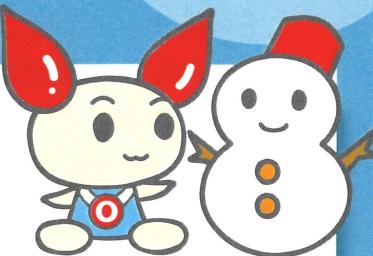




中四国 いんぶあ めへしょん

2017年12月
第18号

企画・発行 日本赤十字社中四国ブロック血液センター 学術情報課 Tel 082-241-1619
協力 中四国ブロック内各赤十字血液センター



中四国ブロックセンターにおける供給モニタリングの役割

血液事業は需要に見合った血液製剤の確保と安定供給を目的に行なっていますが、中四国ブロック内では平成24年度から血小板製剤を中心に供給量が大幅に減少し、その原因がつかめず、需要と供給のバランスが崩れている状況がありました。そこで、中四国ブロックでは、平成27年度から新たな取り組みとして医療機関における輸血用血液製剤の供給動向について、後方視的に検証する『供給モニタリング』を開始しました。

供給モニタリングで最も重要とされることは供給先の医療機関について知り、今後の血液使用を予測し、安定供給につなげていくことです。手術支援ロボット(ダ・ヴィンチ)導入やステント留置術の実施状況、造血器腫瘍治療の新手法「ミニ移植」の普及状況など医療機関毎にそれぞれの特性がありますが、各県血液センターの医薬情報担当者(以下、MR)は、自身が担当する医療機関毎の特性を踏まえて輸血担当部門や輸血医療を行なう医師への訪問により情報収集を行なっていることに加え、院内輸血療法委員会に参加させていただき、情報提供及び情報収集に努めています。

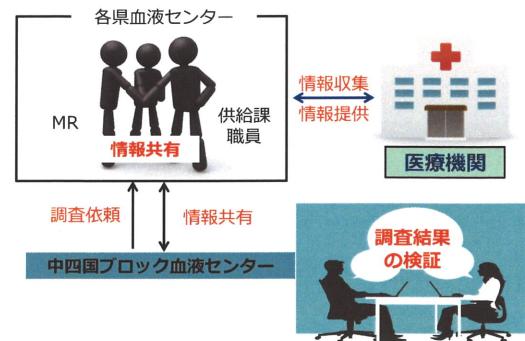
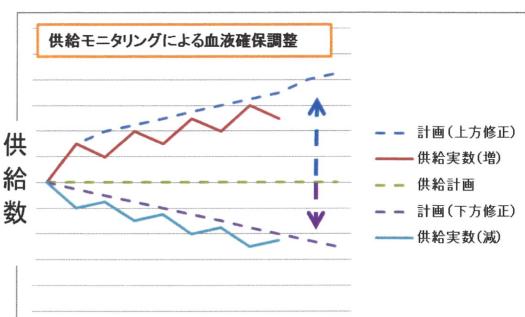
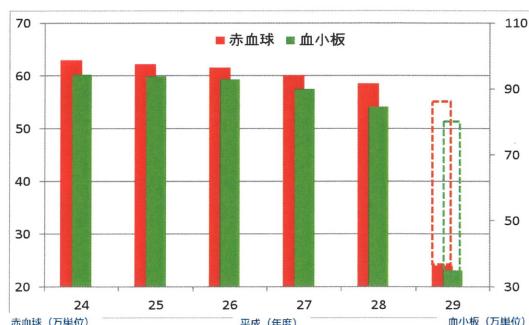
供給モニタリングを開始した平成27年度から、供給課にはMRと同様に医療機関の輸血検査担当窓口等へ訪問を行ない、情報提供・情報収集を行なう医療機関担当者が配置されました。MRと医療機関担当者は連携して活動し、常に県内の供給動向について情報共有を図りながら、供給動向が予測と異なる変化を示した場合には速やかにその原因を調査し、その変動が一過性なのか、今後の供給量に影響するのか、情報の検証を行い、血液製剤の安定供給につなげています。

一方、中四国ブロック血液センターでは各県血液センターから挙がってきた情報と検証結果を集積し、学術情報課と需給管理課で、ブロック全体の動向予測を行ない血液の確保計画につなげています。

献血者からいただいた善意の血液を無駄にすることなく、医療機関へ安定的にお届けするためには、『供給モニタリング』の精度をさらに高めていく必要があると考えています。医療関係者の皆様にはMRと医療機関担当者の活動にご理解いただくとともに、これからも血液の使用動向に関する情報収集に対して更なるご協力をお願ひいたします。

(中四国ブロック血液センター 学術情報課 是澤光治)

中四国ブロックの輸血用血液製剤供給状況



日赤の事業・活動内容をもっと知つてもらうために

もっと知つて! やまぐち 赤十字フェスタ2017を開催しました

日本赤十字社では、「苦しんでいる人を救いたい」という思いを、国内災害救護・国際活動・赤十字病院・血液事業・救急法等の講習・社会福祉・赤十字ボランティア・青少年赤十字・看護師等の教育という9つのかたちにして事業を展開しています。

2017年10月22日(日)に、県内の赤十字施設(日本赤十字社山口県支部、山口赤十字病院、小野田赤十字病院、山口県赤十字血液センター)合同で、赤十字奉仕団・ボランティアの皆さまのご協力のもと、日赤の使命である「人間のいのちと健康、尊厳を守る」をもとにした事業・活動の内容を、もっと知つて、身近に感じていただくよう、第2回目となる「もっと知つて! やまぐち赤十字フェスタ2017」を開催しました。

～当血液センターのブースでは、「キッズ献血」を行いました。子どもたちに“献血の受付から、問診、血圧等のチェック、献血してキッズ献血カードとジュースをもらうまで”を体験してもらいました。「大きくなったら献血をして、病気などで苦しんでいる人たちを助けてあげてくださいね」とお話しさせていただきました。～

こども献血模擬体験

キッズ献血
273名のキッズが体験!

痛くない!
元気を患者さんに分けてあげられるんだね♥

血液センター車両見学

はたらく車

献血バス中はどうなっているの?

緊急のときはサイレンや赤色灯を使って血液を患者さんに届けるんだね♪

バルーンアート

スタッフが全力でおもてなししました。

～イベントの一例～「お仕事体験」も!



救急法ミニ講習



高齢者疑似体験
視野が狭くなって見えにくい



内視鏡外科手術体験



ぬり薬ねりねり体験
薬剤師といっしょに



放射線科探検ツアー
レタスやブドウ(種あり・種なし)
等の断面映像



スタンプラー



高校生による献血啓発・防災紙芝居



気象の専門家による
お天気教室、防災クイズ

当日は台風接近の影響をうけ、あいにくの空もようとなりましたが、1000人を超える方々にご来場いただきました。今後も楽しみながら赤十字の活動について知つていただけるよう努めたいと思います。

今回、お仕事体験のコーナーもたくさんありました。子どもたちに赤十字の仕事に興味を持つてもらえたうれしいです。

(山口県赤十字血液センター 学術・品質情報課 伊藤道子)

